

認知症キッズサポーター養成講座

認知症の人に
やさしいまち
福山



認知症は誰にでも起こる、身近な病気です。高齢者の約4人に一人が認知症またはその予備軍であり、さらに増加すると言われています。福山市では、「認知症にやさしいまち福山」をめざして、認知症サポーターの養成に取り組んでいます。

認知症サポーターとは

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対して、自分にできる範囲での手助けをする人です。

テキストは、小学生向け・中学生向け・一般向けと分かれており、子どもたちには紙芝居やグループワークなど、分かりやすい手法で講座を開催しています。

<小学生向け> テーマ「認知症ってなあに？」
認知症についてわかりやすく学び、自分にできることを考えます。

<中学生向け> テーマ「認知症を知ろう」
認知症を正しく知って接するときの心がまえを学びます。



おすすめポイント

認知症について正しく理解するとともに、「命の大切さ」「老いていくこと」「他者理解」の観点での学びにも繋がります。

受講者
大募集

認知症サポーターになるためには・・・

認知症サポーター養成講座を受講すればどなたでもなれます。

認知症サポーター養成講座は、講師を無料で派遣しています！

- 講座時間は、約90分間です。
希望に合わせて1コマ～2コマでの実施も可能です。
- 受講者には、サポーターの証として「認知症キッズサポーターカード」をお渡しします。

学校へお願いすること

- ・開催日の原則1か月以上前までに申込みをお願いします。
- ・会場の用意が必要です。

